

形 L32-30□

2 ポート電磁弁キット

部品交換要領書

本部品交換要領書は下記メンテナンスキットの品番に対するものです。
お手元のメンテナンスキットの品番が、下表内にあることを確認ください。

メンテナンスキットの品番
MK0668、MK0669、MK0670、MK0782、MK0783、MK0784

[ご注意]

ご注文・ご使用に際しては下記 URL により「ご注文・ご使用に際してのご承認事項」を必ず読んでいただきたくお願い申し上げます。

<https://atc.azbil.com/products/order.html>

この資料の記載内容は、お断りなく変更する場合がありますのでご了承ください。

本資料からの無断転載、複製はご遠慮ください。

アズビルTACO株式会社 <https://atc.azbil.com/>

2013 年 4 月 1 日、TACO 株式会社はアズビル TACO 株式会社へ社名を変更いたしました。

東京都板橋区高島平 9-27-9 TEL: 03-3936-2311

安全上のご注意（必ずお守りください）

本製品は高い品質と信頼性を有していますが、万が一、当製品が故障した場合でも、人身事故や火災事故、多大な損害の発生などを生じさせないよう、お客さまの機械・装置において安全を確保されるようお願いいたします。

また、お使いになる方や、他の方への危害、財産への損害を未然に防止するためにお守りいただくことを、次のように説明しています。本文中の注意事項についても良くお読みのうえ、正しくお使いください。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



警告 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意 「軽傷を負うことや、財産の損害が発生する恐れがある内容」です。

■お守りいただく内容を、次の記号で説明しています。



実行していただく「指示」内容です。



警告



交換作業は、電源を遮断してから行う。
感電の恐れがあります。



交換作業は、エアの供給を止め、圧力をゼロとしてから行う。



作業終了後、取付ねじの緩みがないことを確認する。



注意



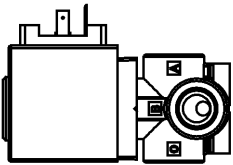
交換作業は電源遮断後、ソレノイドの表面温度が下がってから行う。

《作業開始前》

⚠ 警告	
❗	交換作業は、電源を遮断してから行う。 感電の恐れがあります。
❗	交換作業は、エアの供給を止め、圧力をゼロとしてから行う。
⚠ 注意	
❗	交換作業は電源遮断後、ソレノイドの表面温度が下がってから行う。

※注意 作業開始前に、対象ユニットの設定圧力とポンプの作動頻度を記録してください。
分解時に、少量の油が周辺に漏れる場合があります。

同梱物の確認

③ x 1 式	④ x 2 本	⑤ x 1 個
 電磁弁アセンブリ	 十字穴付小ねじ	 沈みプラグは MK0782 MK0783 MK0784 の場合に付属します。 沈みプラグ

分解および組立に必要な工具、ウエス等については、お客様にてご用意ください。
作業を行うための作業台をご用意ください。

必要工具：十字ねじ回し 呼び番号 2

スパナ 対辺 17mm

六角レンチ 対辺 8mm

モンキレンチ

その他 ユニットを取り付けているボルト類に適合した工具をご用意ください。

《分解手順 1》

1. カバーの取り外し

カバーのつまみを反時計方向に回してゆるめ、カバーを取り外します。

2. 電線の取り外し

2-1. エア供給用電磁弁の DIN ソケットを固定している十字穴付小ねじをゆるめ、DIN ソケットとガスケットを取り外します。(図 1)

※ 取り外した DIN ソケットとガスケットはポンプ交換後に使用します。ガスケットの紛失に注意してください。形式が L32-302 で、レベルスイッチが付属しないモデルの場合手順 3. に進んでください。

2-2. ユニット上面の止めねじをゆるめて外し、油槽背後の端子ボックスを右に引き出します。(図 2)

2-3. 機械側から端子台に接続されている配線を外します。(図 2)

2-4. 端子ボックスを左に戻し、ユニット上面の止めねじで固定します。(図 2)

3. チューブの取り外し (図 3)

ユニット下部からエアチューブ (φ6) とオイルチューブ (φ4) を取り外します。

自動給油可能タイプでない場合、手順 5 に進んでください。

4. ユニットに接続されている自動給油用の配管を、継手のナットをゆるめて取り外します。(図 4)

5. ユニットの取り外し

ユニットを固定している 3 本のボルトをゆるめユニットを取り外します。

図 1

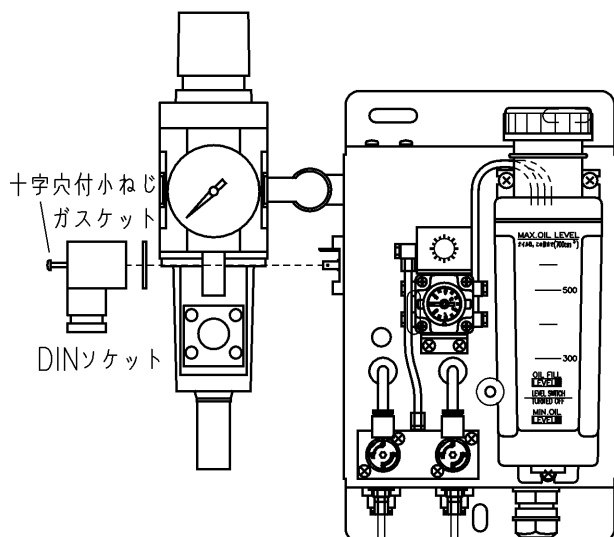


図 2

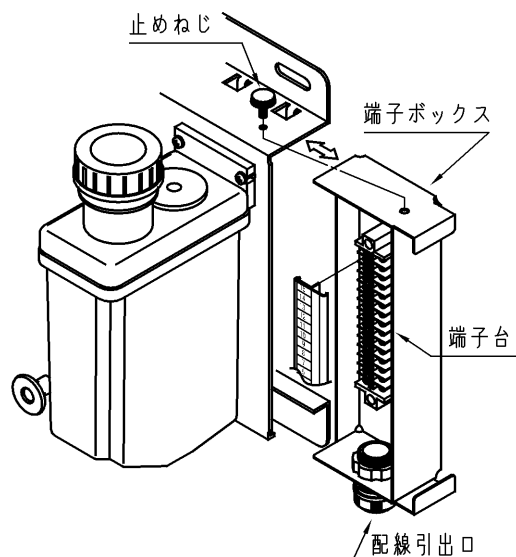


図 3

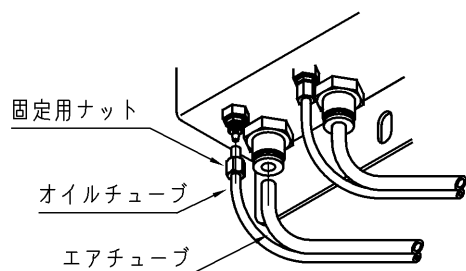
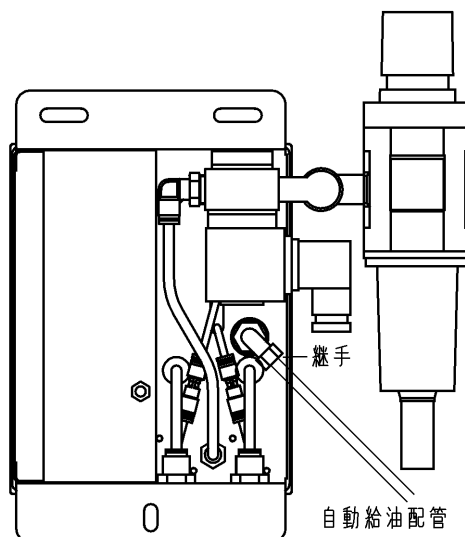


図 4



《分解手順 2》

6. 電磁弁の取り外し

6-1. 電磁弁アセンブリ OUT 側のプッシュイン継手からチューブを抜きだします。(図 5)

6-2. 2 本の十字穴付小ねじをゆるめ、IN 側の配管ごと電磁弁アセンブリを取り外します。(図 6)

7. 配管の取り外し

取り外した電磁弁アセンブリに接続されている、プッシュイン継手と配管を取り外します。(図 7)

※ 取り外した電磁弁アセンブリ、十字穴付小ねじは使用しません。
産業廃棄物として各地方自治体の条例に従って適切に処理してください。

図 5

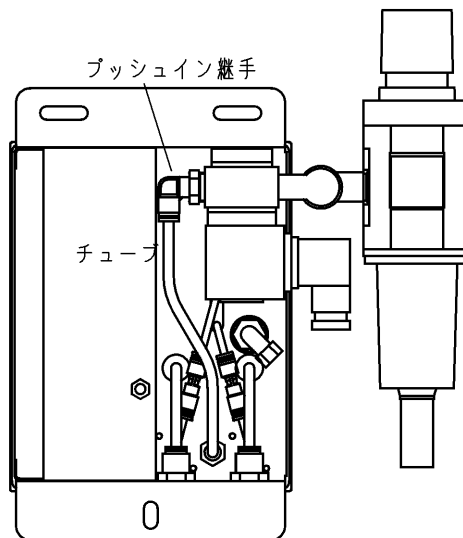


図 6

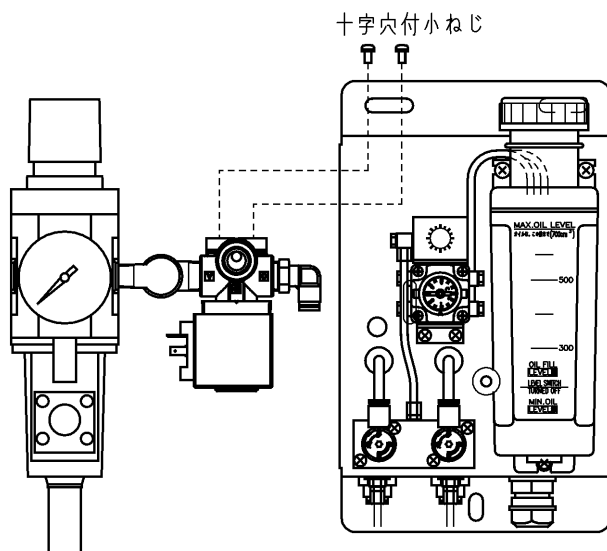
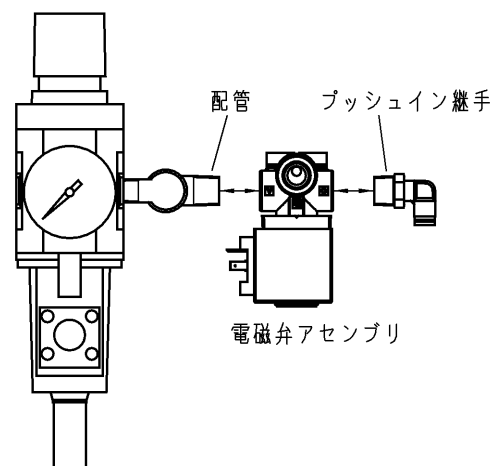


図 7



《組立手順 1》

警告

❗ 作業終了後、取付ねじの緩みがないことを確認する。

1. 配管の取付け

MK0668、MK0669、MK0670 の場合、手順 1-2 へ進みます。

1-1. 電磁弁アセンブリ③の B ポートに沈みプラグ⑤をねじ込みます。(図 8)

1-2. 分解手順で取り外したプッシュイン継手と配管にシール剤またはシールテープを施します。(図 9)

1-3. 電磁弁アセンブリ③の IN ポート (A ポート) に配管材を、OUT ポート (O ポート) にプッシュイン継手を取り付けます。(図 9)

注意 取付け位置を間違えないようにすること。

2. 電磁弁の取付け

2-1. 2 本の十字穴付小ねじ④を締め付けて電磁弁アセンブリ③を固定します。(図 10)

2-2. 電磁弁アセンブリ OUT 側のプッシュイン継手にチューブを差し込みます。(図 11)

※ 差し込み後チューブを軽く引っ張り、抜けないことを確認します。

3. ユニットの取付け

分解手順 5 で取り外した 3 本のボルトを締め付けてユニットを固定します。

図 8

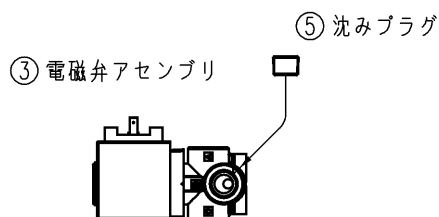


図 9

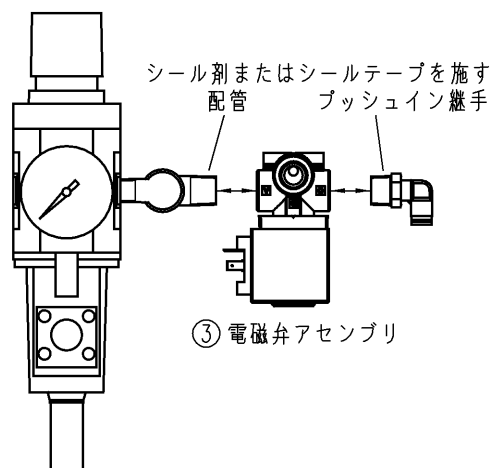


図 10

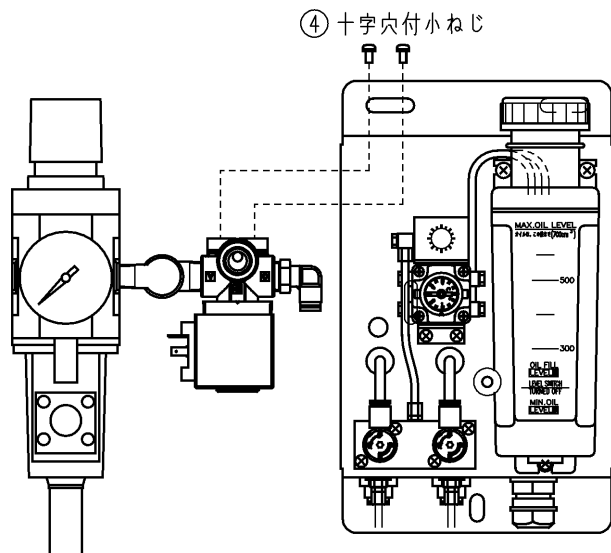
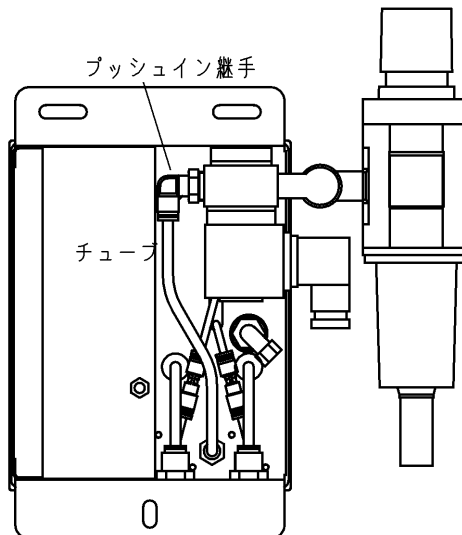


図 11



《組立手順 2》

⚠ 警告

❗ 作業終了後、取付ねじの緩みがないことを確認する。

自動給油可能タイプでない場合、手順 5 へ進んでください。

4. 分解手順 4 で取り外した自動給油配管を継手に合わせ、ナットを手で仮止めします。

仮止めしたナットをスパナで絞めていきます。手応えが強くなった点から 1/4 回転締めこみます。

5. チューブの取付け (図 13)

分解手順 3 で取り外したユニット下部のエアチューブ (φ6) とオイルチューブ (φ4) を接続します。

6. 電線の取付け

6-1. 分解手順 2-1 で取り外した DIN ソケットとガスケットをエア供給用電磁弁に組み込み、十字穴付小ねじで固定します。(図 14)

形式が L32-302 で、レベルスイッチが付属しないモデルの場合、手順 7 に進んでください。

6-2. ユニット上面の止めねじをゆるめて外し、油槽背後の端子ボックスを右に引き出します。(図 15)

6-3. 分解手順 2-3 で取り外した機械側からの配線を端子台に取り付けます。(図 15)

6-4. 端子ボックスを左に戻し、上面の止めねじで固定します。(図 15)

7. カバーの取付け

ユニットにカバーを被せ、つまみを時計方向に回して固定します。

図 12

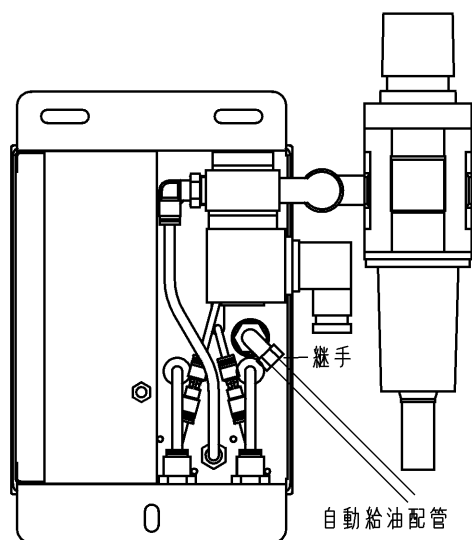


図 13

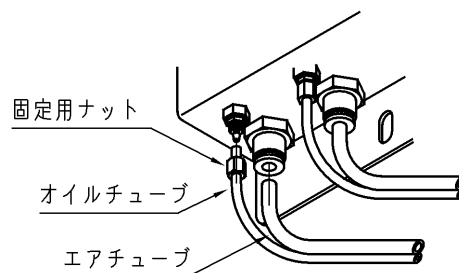


図 14

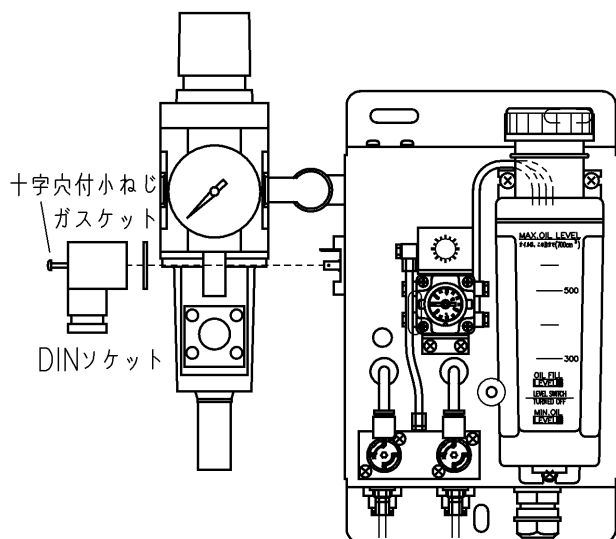
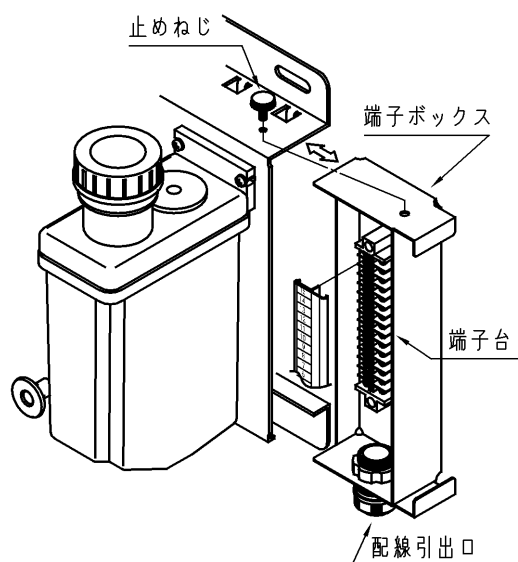


図 15



《交換後の確認事項》



作業終了後、取付ねじの緩みがないことを確認する。

電源、圧力を復帰する前に、取り付けたボルトにゆるみがないことを確認します。

確認後、電源、圧力を復帰し装置を起動します。

この際、下記項目を確認してください。

1. エア漏れの有無

- ・電磁弁の IN, OUT ポートと接続したプッシュイン継手、配管の間からのエア漏れがないこと。

2. 電磁弁の作動状態

- ・電磁弁の駆動信号に対し、正しく作動すること。